



「2011年度国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師」資格認定試験実施

2011年7月2日(土)・3日(日) 情報オアシス神田 淡路町スペース

■ 本格的な夏真っ盛りの7月2、3日の2日間、2011年度「国際薬膳師(士)・国際薬膳調理師」資格認定試験が行われました。本校の通学・通信コースの卒業生を中心に、総勢33名の受験生の方々が一同に集まり、難問に取り組まれておりました。

今年の認定試験は、去る3月11日に発生した東日本大震災の影響で、本来行われる予定だった4月より3ヶ月延期して行われたもので、受験生の皆さんにとっては例年以上に難しい調整を強いられた試験となってしまいました。

試験に取り組む受験生たち。



しかしながら、受験生の皆様の並々ならぬ努力の甲斐あって、無事全員合格いたしました。

(2頁目に合格者一覧を掲載) 皆様、おめでとうございます!

尚、資格取得後も更なる中医栄養薬膳学の知識・技術の向上に努められますよう、本校では各種研究科コースを設け、引き続きサポートしてまいります。

今後の国際薬膳師・国際薬膳調理師としての皆様のご活躍を期待いたします。

国際薬膳師の合格によせて

第十三期生 鶴井 恵実

この度は国際薬膳師の資格を頂くことができました、この上ない喜びを感じております。

本草薬膳学院の劉先生をはじめ、各講師の先生方の楽しく、丁寧なご指導のおかげと感謝しております。

今年度の資格認定試験は、三月の大震災の影響により七月に延期となりました。その間、劉先生は、安否の確認、本草薬膳学院内の近況報告、試験対策講座及び認定試験の日程変更等で奔走されてまいりました。迅速かつ適切なご判断により、私達は無事に資格認定試験を終えることができましたことに、感謝の念に堪えません。本当にありがとうございますございました。

今日の医学の主流は、『治療医学』から『予防医学』へと変わりつつあります。

発病前の予防はもちろん、発病後に行う治療医学においても、治療のみだけでなく、発病後の予防が求められています。

日本での今までの医学は、病気になるたら治す治療医学が中心でしたが、これからは、①病気になるように予防する

②治療後に再発などを予防する
などの予防医学が、ますます重要になることでしょう。

その予防医学の中の一つのツールとして、中医学理論に基づいて食材、中薬を組み合わせた料理であり、栄養・効果・彩り・香り・味などが揃った食養生の方法である薬膳学を学ぶことができたこの一年間は、とても有意義なものでした。

中医学には『未病』(病気になる前に、身体バランスの崩れを治療する)という考え方があります。食べ物の効能を理解して、上手に利用することによって、未病を治して病気を防ぐことが可能です。

本草薬膳学院では、中医学理論の基礎から始まり、薬膳実習を通して色々な食材・中

薬の性質や調理方法をも学びました。毎回の講義はとても新鮮で興味深いものでした。

また、同期生の仲間とのランチ&勉強会もとても楽しく、美味しく勉強できました。『何をどう勉強したらよいか?』などをお互いに話し合い高め合えた事は大変心強いものでした。仲間の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。

本草薬膳学院に通学することにより、薬膳学はもちろんのことですが、素晴らしい先生方、同期生の仲間との出会いが何よりも私の宝となりました。

まだまだ、独力で薬膳メニューを考える事は難しいですが、学んだ薬膳メニューを活用して健康的な生活のために勉強を続けていきたいと思っております。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます

二〇一一年八月

